

●しゃらくかい

写楽同会

令和元年9月30日 045

<http://isamusouma.web.fc2.com/>

投稿/投票宛先; kinuko_thompson@hotmail.com

© 2019 Sharakukai

長月兼題「道、路」 出題：昼寝覚

写真俳句



1 秋相撲勝ったヨ花道気持ち良く



2 秋の山三步登りて路遠し

谷川岳頂上付近、8月号の 準坊さんの短歌、「夏帽子谷川岳の風に揺れ片手にカメラ花ウオッチング」の少し上、双耳峰付近です。



3 秋の古都 道いっぱいの人人人

奈良の観光名所は人でごった返っていました。



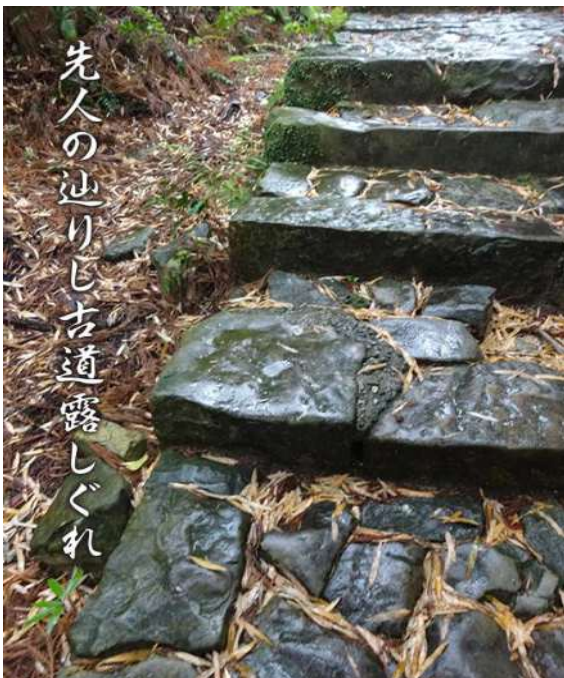
4 参道を色なき風の吹き抜けり

参道に爽やかな秋風が吹き抜けました。（季語：色なき風）



5 母と子を奪えし道に虫の声

4月に起きた大きな事故。未だに献花が絶えない。



6 先人の辿りし古道露しぐれ

熊野古道の石段に歴史を感じました。

干草は巻かれてんてん風の道



7 干草は巻かれてんてん風の道

初め「干草ベール」としたのですが、日本では北海道以外ではなじみがないようで差し替えました。直径1m強の干草ロールです。



天高し大木呑みこむ道静か

8 天高し大木呑みこむ道静か

写真では大木に見えない？ようですが、1人では抱えきれない大きな木です。

俳句



裏磐梯デコ平湿原の散策路。どこまでも木道が続いていました。（撮影：昼寝覚）

1 名月やアウトバーンを友へ疾く

中秋の満月を見ながら正に十何年振り、フランクフルトからボンへ長距離バスで向かっている車中で詠みました。

2 かなかなの声に送らる帰り道

夕暮れが近くなると鳴き出す蝸。秋も始まりました。

3 陽を返し小茄子つややか道の駅

4 秋茜付かず離れず田圃道

5 道端で羽ばたき絶ゆる秋のセミ

今年は何度も見た光景ですが、中にはしばらくして飛立って行きました。

6 坂道を犬より早く歩く秋

7 行列を逸れて脇道蟻二匹

蟻の行列を見ていると数匹が行列を逸れて。甘い匂いがあるのかな？

8 落ち葉踏む 優しき道を二人して

秩父荒川沿いの遊歩道、落ち葉で大変柔らかく、足に優しい道でした。

短歌

秋の陽を
浴びてたおやか青もみじ
紅に染まるを
待ち焦がれつつ

準坊

紅葉を待ち侘びています。



川柳

観光を視察と言ってお出掛けす 準坊

自分も視察旅行してみたい。

点滅に駆け渡れ無い青信号 準坊

足が！急がずに次の青信号を待ちましょう。

晴れ舞台舞台化粧の山東さん 準坊

参院議長就任の山東さん、流石の付けまつ毛。

確かめて着たのにセーター後ろ前 北切雀

最近はこれが多くて・・・。

「アーンして」むかしラブラブいま介護 (2013年ポプラ社発行 シルバー川柳 2) 抜粋

証人が一人もない武勇伝 上中直樹

マイケルの真似を発作と間違われ 伊野浩

お辞儀して共によろけるクラス会 石岡和子

夫婦仲社会福祉と妻はいい 得能義孝

写真投稿

読者 J Aさん

フィヨルド（ノルウェー上空）

去年の12月、羽田からロンドンへロンドン行の機内からの写真です。ロシア上空は通過した後だろうなと思い、座席の地図画面を開いたらノルウェーの北の方でした。

iSAMU 3点

**高隈杜鵑（タカクマホトトギス）****木槿（ムクゲ） 韓国の国花****臭木（クサギ） の実**

<< >>は作者コメント、* は読者コメントです。

写真俳句 投票数：28

一席 帰還せぬ兵士に芥子の花の黙（もだ） 北切雀（11票）



<< イギリスの殆どの市町村にある戦没者慰霊碑です。碑のデザイン、大小は様々ですが必ず流血を象徴するポピーの花環が供えられています。>>

- * 新しい戦没者慰霊碑が出来ぬ事を願います。
- * 自分のことだけ、自国の権益だけを優先していたら同じ人間であることが見えなくなる、誰だってみんな尊い命、みんな悲しむ人があることは同じ、忘れちゃいけないと伝えていると思います。
- * 日本でも、本来市町村レベルでの慰霊碑があってしかるべきですね。芥子がポピーと同種とは初めて知りました。
- * 戦争はどここの国でも人民に多くの犠牲が生じる。芥子の花言葉は「慰め」戦没兵士への哀悼の情に共鳴する句。
- * 芥子の花は何も語らず いろんな思いが想像出来ます。
- * 花の黙がいいです。故郷に帰れなかった 遺骨が 今も色々な場所に…。

佳作7句（令和元年8月号掲載順）

折り鶴の羽ばたくを見るヒロシマ忌 久芽



<< 核廃絶と戦争の無き世界…核兵器禁止条約に何故署名しない！
誰もが願っているでしょう。>>

- * 願いと祈りを込めた千羽鶴。悲劇を繰り返さぬよう。
- * この原爆テーマが3作品ありましたが、どれも心に響く写真と句です。平和のありがたさを実感しました。
- * 原爆忌の写真は三題ありましたが、より未来志向と思われる1番を選びました。
- * 写真と句が平和の美しさを表しているように感じました。
- * 世界への発信を意識して「ヒロシマ」とカタカナ表記にしたのがいいと思います。

惨状を今に留めん原爆忌 iSAMU



<< 僕は1945年8月1日に岡山で生まれましたが、約100km離れた広島で5日後に原爆が市街地の上空で爆裂し惨状をご存知の通りです。74年が経過し、僕も74歳になった訳ですが、この原爆ドームの他には当時の状況を残すものは何一つありません。季語として使い方も難かしく、使いたいものではありませんが、先人が残してくれたこの季語は、憲法九条と共に守っていくべきものと思います。>>

- * 写俳①と同じ建物が、句にあるように惨状を表している怖さを感じた。

城跡に閑（とき）の声聞く野分かな 準坊



<< 天空の城、竹田城址を訪ね戦国の世に想いを馳せる。>>

- * 「戦」にいくばくかのロマンチズムがあった時代。
- * 静かな風景ですが遠い昔から争いは絶えないことを教えてください。戦いがどうあれ結果どんなに悲惨なことか、声なき声を心で聞いて、争いのない心を維持できる人になりたいものです。
- * 国盗り合戦の時代があったのですね。国破れて山河あり、後は野となれ山となれ。



土用風 (あい) 音も戦う甲子園 梵木

- * 日本人の心情に確立された戦い。熱い、暑い。
- * 「美爆音」で一躍有名な応援団も話題に。土用風（涼しい北風）も球児の熱闘とブラスの爆音に熱風となる。
- * 今年の甲子園、応援のブラスバンド合戦は話題になりましたね。



秋陽強く レコンキスタの戦跡 昼寝覚

<< アルハンブラ宮殿に隣接する城跡。今は格好の観光地。>>

- * くっきり幾何学的な影がイスラムで、ムーアっぽくて素敵。旅情を誘われました。



戦火なし長き平和や敗戦忌 千泉

<< 終戦記念日の数日前にあった花火をみながら感じました。>>

- * この花火が戦火であつたら。。。ぞっとします。
- * 花火を見ていると平和を願う気持ちだったり、今は亡き親や友だったり色々偲べれます。

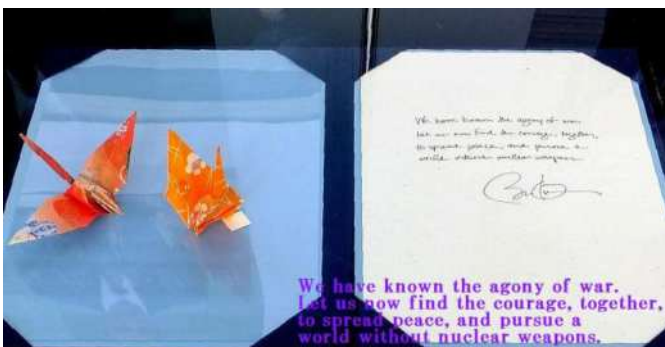


六十兆細胞爆 (は) ぜるキノコ雲 池福楼

<< 六十兆は人間一人の細胞の数。その全てを瞬時に破壊する。悪魔の所業か狂気の果てか。>>

- * このカメラはどこにあるのでしょうか？地獄絵図。

俳句 投票数：26



「私たちは戦争の苦しみを経験しました。共に、平和を広め核兵器のない世界を追求する勇気を持ちましょう」 (メッセージの内容)

2016年5月27日にオバマ大統領が来日され平和記念資料館で自ら手折った鶴とメッセージです。中学1年の孫を連れて3年前に見て来た写真です。孫達にこうしたものを見せねばなりません。

iSAMU

オバマ氏直筆メッセージの訳
(インターネットより)

夏草と戦い終へて腰伸ばす 久芽（9票）

<< 夏草は根がしっかりして葉っぱも硬くてすぐに伸びてしまいます。戦いです。>>

- * わかる！今は庭のない暮らしですが、戦わずして負けていた日々を思い出します。
- * こういう戦いは私もしばしば挑んでいます。終わりなき戦いです。
- * 夏の草抜きは半端ない大仕事。汗まみれになります。その割にはかが行かないですね。
- * 夏草の草刈を戦いとした面白さ。作者のやりとげたほっとした表情が目につかぶ。
- * 我家は戦えなくなったので人工芝にしました。
- * 超現実的な戦いですね。御苦労様です。

佳作6句（令和元年8月号掲載順）**朝イチに夏と戦う虫の声 梵木**

- * 夏を精一杯生き抜く虫たち。地球の生き物をつなぐ小さな命。
- * う～ん、わかる。私に当てはめてみたら夏というより暑さですが、「早く季節を譲ってくれよー」と叫びたい！
- * 日本で朝の虫の声（特にセミ）に驚く外国人多いですね。
- * 朝から虫の声、やかましい。余計に暑く感じます。

大蟻の戦い止まぬ熱き道 千泉

<< 炎天下の中での出来事を見てました。>>

- * 虫が一番面白い季節は夏。生存をかけた蟻の戦いを凝視する作者の目。

玉音の夏は彼方の令和かな 池福楼

<< 「耐え難きをた耐え・・・」の玉音放送に涙し打ちひしがれた日本。この悲劇も歴史の隅に埋もれてしまう。>>

- * 本当に時の流れは早い。戦後復興の人間力を忘れずに。
- * 「玉音」という言葉は、悲劇と殆ど同義語になってしまった。
- * 本当に戦中派が減っていくのは残念です。平和が続くことを祈るばかりです。

父も母も語らず逝きし終戦忌 北切雀

- * 自分も当時の話をもっと聞いておけばと後悔。
- * 私も戦争の話を両親からあまり聞いた覚えはありません。
- * 悲惨な戦争体験を伝える語り部の存在は次世代の為に必要なこと。
- * うちもそうだったけど、戦争の話をせずじまいだった家庭が大多数では？「語らず逝きぬ」と一旦切る方がよりインパクトが大きい気がします・・・。

作者注：余韻を残したく「し」にしましたが、おっしゃる通り。この場合はインパクトですね、ありがとうございました。

美ら海（ちゅらうみ）の破壊は進む終戦日 準坊

<< 美しい海が削られて行く。戦後ずっと続いている沖縄の米軍基地問題。>>

- * 政治に踏みにじられてきた沖縄の歴史。海をも。
- * 美ら海が破壊されていくのが悔しいです！！

マスコミの煽りし戦争 十二月 昼寝覚

<< 三国干渉のころの「臥薪嘗胆（がしんしょうたん）」、支那事変のころの「暴支膺懲（ぼうしやうちょう）」、太平洋戦争の「鬼畜米英（きちくべいえい）」。散々煽っておいて負けたらなんの反省もなし。マスコミをすべて信じていることの危険を感じます。>>

- * SNSも恐ろしいものです。

短歌

夏帽子
谷川岳の風に揺れ
片手にカメラ
花ウオッチング 準坊

<< 標高1500mの谷川岳天神平。
多くの高山植物で彩られていました。>>



* 背景の連山が青く霞む距離と高さ。その構図のほぼ中心に白い夏帽子。涼しい写真と花を楽しむ詩、いいですね。咲いている花を実際に見てみたいです。

川柳

干し物に漸く気づく雨の音 準坊

<< アツ雨音！干したままの洗濯物に気づくのが遅れ。>>

飛べたはず縄跳び足に絡みつく 準坊

<< 久しぶりに縄跳びに挑戦もアレッこんなはずでは？>>

* 高齢者川柳にはいつも笑ってから「あるある」で憮然。身心の加齢現象は自然なことだと受け止めます。

- * 作者さん、読者さん、いつもご協力ありがとうございます。多々ある不備、不手際のお見逃しも感謝です。
- * 神無月10月の兼題は池福楼さんから「秋の草花（含、秋の七草」、霜月11月は読者JAさんから「空の旅」と戴いています。
- * 長月9月号の作品の写俳、俳句の中で「いいね」と思われた2作品の番号を投票して下さい。
- * 句とは別に、写真として特にいいと思われる写俳作品がありましたら「写真いいね！」として投票下さい。
- * 投票しなかった作品へのコメントも遠慮なくお寄せ下さい。短歌、川柳也大歓迎です。
- * 神無月10月への投票、霜月11月号作品への投稿の締め切りはともに10月20日です。
- * 随想、珍事報告など書き込みの他、読者さんからの写真や句の投稿、兼題提案もお待ちしています。

「写楽句会」（五十音順）

いっし

池福楼、iSAMU、一枝、北切雀、準坊、隅っ孤、沈丁花、千泉、久芽、昼寝覚、梵木

写楽句会 連絡先：kinuko_thompson@hotmail.com

© 2019 Sharakukai

筆責：北切雀

校正：準坊、池福楼

<http://isamusouma.web.fc2.com/>

